

～女性の活躍促進・企業活性化推進営業大作戦（第1号）～

株式会社大塚製薬工場（鳴門市）を

西井裕樹徳島労働局長が訪問しました！



労働力人口が減少する中、意欲ある女性が活躍できる環境を整備することは、経済の活性化の観点からも注目されています。

徳島労働局では、女性の活躍推進（ポジティブ・アクション）の取組を企業に働きかけるため、企業トップへの訪問を10月からスタートしました。



徳島県内の訪問企業第1号として、西井裕樹徳島労働局長が「株式会社大塚製薬工場（鳴門市）」を訪問し、女性の活躍推進に向けてポジティブ・アクションについて取組を促進していただくための要請書を手渡しました。

株式会社大塚製薬工場の小松喬一代表取締役会長からは「大塚グループとしては、グローバル化、技術革新、ダイバーシティを3本柱に掲げており、男女にかかわらず戦力化を図っている。当社では営業職ですでに女性が2割を超え女性の部長・課長も随所で活躍しています。グループ企業においては事業所内保育施設も整備し労働者の就業環境も整えています。」との御説明をいただきました。

西井局長からは、徳島県のリーディングカンパニーとしての取組内容を、厚生労働省が運営するサイト「ポジティブ・アクション情報ポータルサイト」や、女性の活躍を推進していることを宣言する「女性の活躍推進宣言コーナー」などへの掲載をすることで、県内外に発信していただきたいとの依頼をしました。

徳島労働局では、今後も企業に対して女性の活躍を推進していただくための自主的取り組みについての要請を行うこととしています。